

理 科 学 習 指 導 案

指導者 池田 立身

1. 日時 場所 平成27年11月17日(火) 第3校時

2. 学年 第6学年(1組と2組合同で行う。)

3. 単元名 自然とともに生きる

4. 単元の目標

ヒトやほかの生物と環境がどのようにかかわり合っているのかを調べたり,身近な環境問題を調べたりして,生物と環境のかかわりについての考えをもつことができるようにするとともに,自然を大切にしようとする態度を育てる。

5. 本時の目標

校内に植えてある樹木に関心を持ち,その樹木が環境に果たしている役目について考える。
(樹木の名札贈呈式を通して)

6. 指導過程(本時は5/5。ただし1/5から4/5については,3月になって指導する。)

過程	学習内容	児童のおもな活動	指導上の留意事項
導入	1. 樹木の名札の贈呈を受ける。	児童代表2名が,名札をもらい受ける。	
展開	2. 樹木に名札を付ける。	児童代表数名が,それぞれの樹木に名札を付ける。	
	3. 樹木医の話を聞く。	(参考) 樹木医(じゅもくい,アーボリスト,英: Arborist)は, 日本 の 民間資格 の1つで, みどりの文化財 である各地の貴重木から 街路樹 などの身近な 樹木 を保護する専門技術者,すなわち『樹木の医者』である。	・樹木医の仕事などについて話を聞き,樹木医の役目について理解させていく。 また,質問コーナーを設け,わからないことがあったら,積極的に質問させていくようにする。
	4. 森林の果たす役割について理解する。	教師が,森林の樹木が環境に果たしている役割を伝える。	・森林と空気の関係,光合成によるデンプンなどの生成,森林が水の保全をしていること,また森林が海の水を守っていることを簡潔に伝えていく。
終末	5. お礼の挨拶をする。	・児童が,お礼の言葉を伝える。	